



2019年6月19日

各 位

会 社 名 株式会社 PKSHA Technology
(コード番号 3993 : 東証マザーズ)
代表者名 代表取締役 上野山 勝也
問合せ先 取締役経営管理本部長 中田 光哉
(03-6801-6718)

モビリティ MaaS 領域におけるアルゴリズムの社会実装に向けた 株式会社アイドラの株式取得に関するお知らせ

当社は、2019年6月19日開催の取締役会において、以下のとおり、当社が設立した特別目的会社（SPC）を通じて、モビリティ MaaS 領域におけるアルゴリズムの社会実装に向け、駐車場機器の製造販売・駐車場運営事業を通じ、IoT 機器を日本全国に配置しリアル空間のデータをクラウドに繋げる株式会社アイドラ（以下、「アイドラ社」）の全株式を取得すること（以下、「本件買収」）を決議しましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 株式取得の理由

当社グループは、「未来のソフトウェアを形にする」をコーポレートミッションに掲げ、機械学習・深層学習技術を用いた「各種ソフトウェア・ハードウェアを智能化する技術」の研究開発と社会実装を行っております。

現在、自社アルゴリズムをアルゴリズムモジュール（顧客企業のソフトウェア・各種ハードウェア端末向けにアルゴリズムモジュールを組み込むライセンス事業）およびアルゴリズムソフトウェア（アルゴリズムモジュールを組み合わせることで自社ソフトウェアを構築し、販売するライセンス事業）の2つの販売形態で展開しております。

今後も様々な IoT 端末の普及により、アルゴリズムが学習するデータ量も増加し、より高度なアルゴリズムソフトウェアが社会で実現されていくと考えております。その中で、当社グループは、アルゴリズムが社会へ提供する付加価値を最大化すべく、将来の市場成長性が高いと考えられる事業領域での取り組みを重点的に強化しております。

特に、日本におけるモビリティ MaaS 事業領域は、長期的にアルゴリズムが活用できる機会が大きく、当社グループにとって事業ポテンシャルが大きいと考えております。アイドラ社グループは 1994 年の創業来、駐車場機器の製造販売および駐車場運営受託事業を通じ、日本全国に IoT 機器を 10 万台以上配置し、リアル空

間のデータをクラウドに繋げてきました。

アイドラ社の事業は将来的に MaaS 領域のラストワンマイルを担うものであると同時に、当社グループが開発するアルゴリズムソフトウェアとの事業シナジーが強く、両社の協業により多様な収益モデルの展開が可能となります。

該当領域においては、IoT 端末による情報収集から顧客への製品・サービス提供までのバリューチェーンを垂直統合することが、当社グループにとって、アルゴリズムが社会に提供する付加価値の最大化につながると考え、本件買収を決定しました。

2. 株式を取得する S P C（合同会社桜坂 1 号）の概要

(1) 名 称	合同会社桜坂 1 号
(2) 所 在 地	東京都文京区本郷二丁目 3 5 番 1 0 号本郷瀬川ビル 4 F
(3) 代 表 者	代表社員 株式会社 PKSHA Technology 職務執行者 中田光哉
(4) 事 業 内 容	各種コンサルティング事業
(5) 資 本 金	1 百万円
(6) 設 立 年 月 日	2019 年 5 月 8 日
(7) 持分及び持分比率	当社 100%

3. 異動する子会社（アイドラ社）の概要

(1) 名 称	株式会社アイドラ		
(2) 所 在 地	東京都新宿区二十騎町 2 番 2 号		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 一ノ瀬 啓介		
(4) 事 業 内 容	駐車場機器の製造販売等		
(5) 資 本 金	3 百万円		
(6) 設 立 年 月 日	2012 年 8 月 13 日		
(7) 大株主及び持株比率	一ノ瀬 啓介 他親族 : 100%		
(8) 上 場 会 社 と 当 該 会 社 の 関 係	資本関係	該当事項はありません。	
	人的関係	該当事項はありません。	
	取引関係	該当事項はありません。	
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。	
(9) 当該会社の最近 3 年間の連結経営成績及び連結財政状態			
決 算 期	2016 年 7 月期	2017 年 7 月期	2018 年 7 月期
連 結 純 資 産	229 百万円	382 百万円	603 百万円
連 結 総 資 産	3,500 百万円	3,299 百万円	4,130 百万円
1 株 当 たり 連 結 純 資 産	0.76 百万円	1.27 百万円	2.01 百万円

連 結 売 上 高	3,684 百万円	3,986 百万円	4,458 百万円
連 結 営 業 利 益	190 百万円	264 百万円	225 百万円
連 結 経 常 利 益	152 百万円	262 百万円	200 百万円
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	218 百万円	153 百万円	233 百万円
1 株 当 たり 連 結 当 期 純 利 益	0.72 百万円	0.51 百万円	0.78 百万円
1 株 当 たり 配 当 金	一 円	一 円	一 円

(注) 1. アイドラ社は株式会社アイテック、昭立工業株式会社を子会社に持ち、主な営業活動は株式会社アイテックが行っております。

2. 数値は未監査です。

3. アイドラ社は連結決算を行っていません。親会社と子会社の単純合算数値からグループ内の取引高及び債権債務を相殺消去した数値を記載しています。

4. 株式取得の相手先の概要

(1) 氏 名	一ノ瀬 啓介 他親族
(2) 住 所	東京都新宿区
(3) 上 場 会 社 と 当 該 個 人 の 関 係	該当事項はありません。

5. 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	一 株 (議決権の数：一 個) (議決権所有割合：一 %)
(2) 取 得 株 式 数	300 株 (議決権の数：300 個)
(3) 取 得 価 額	2,802 百万円 当該取得対価に加えて、業績の達成割合に応じて条件付対価（以下、「アーンアウト対価」という。）を株式取得の相手先に支払う合意がなされています。
(4) 異動後の所有株式数	300 株 (議決権の数：300 個) (議決権所有割合：100%)

(注) 1. アドバイザリー費用等は上記の取得価額に含まれておりません。

2. アーンアウト対価はクロージング日のアイドラ社の出資者に追加的に支払われる対価であり、

2020年9月および2021年9月に終了する当社グループ事業年度に係るアイドラ社の EBITDA が一定の金額を超えた場合、その超過額に応じて、0 百万円～2,266 百万円の範囲内で支払われます。アーンアウト対価の導入により、本件買収に伴う当社のリスクを軽減するとともに、アイドラ社側に対するインセンティブ効果が得られることとなります。

6. 日程

(1) 取締役会決議日	2019年6月19日
(2) 契約締結日	2019年6月19日
(3) 株式譲渡実行日	2019年7月5日(予定)

7. 今後の見通し

本件買収が当社グループの2019年9月期連結業績予想に与える影響はございません。また本件買収に伴い、のれんが計上される見込みですが、来期以降の業績に与える影響につきましては、明らかになった時点で速やかに開示いたします。

(参考) 2019年9月期連結業績予想(2018年10月1日～2019年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
通期	2,500	900	890	615	23.22

以上